

2008年7月7日

会社名 第一三共株式会社
代表者 代表取締役社長 庄田 隆
(コード番号 4568 東証・大証・名証各第1部)
問い合わせ先 コーポレートコミュニケーション部長 齋 寿明
(TEL : 03-6225-1126)

カーボンオフセットを活用した営業車両に関する温暖化防止貢献活動について

第一三共株式会社（本社：東京都中央区、社長：庄田 隆）は、地球温暖化防止に貢献するため、営業車両から排出されるCO₂に関し、カーボンオフセット^{※1}を実施することとしましたので、お知らせいたします。

当社は、これまでも営業車両のCO₂排出削減策として、エコドライブの推進、低排出ガス車・低燃費車（ハイブリット車含む）への切り替え、公共交通機関の活用などを進めて参りましたが、温暖化防止貢献への追加策として、削減施策を実施しても事業活動上避けられないCO₂排出分（約9,000トン/年）について、クリーン開発メカニズム（CDM）^{※2}に基づく排出権を使用し、カーボンオフセットを実施いたします。

なお、当排出権は、国連CDM理事会にて承認された韓国ウルサンプロジェクト^{※3}によるものであり、取得および日本政府管理口座への移転申請手続等は、東京リース株式会社および東京オートリース株式会社が代行します。

当社は、引き続き、環境に配慮した事業活動を行うとともに、あらゆる場面で温暖化防止を推進することで企業の社会的責任（CSR）を果たし、地球全体の環境保全に貢献して参ります。

※1 カーボンオフセット

自らの温室効果ガス（CO₂など）排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力をした上で、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガス排出削減・吸収量等（クレジット）を購入することにより、その排出量を相殺すること。

※2 クリーン開発メカニズム (CDM)

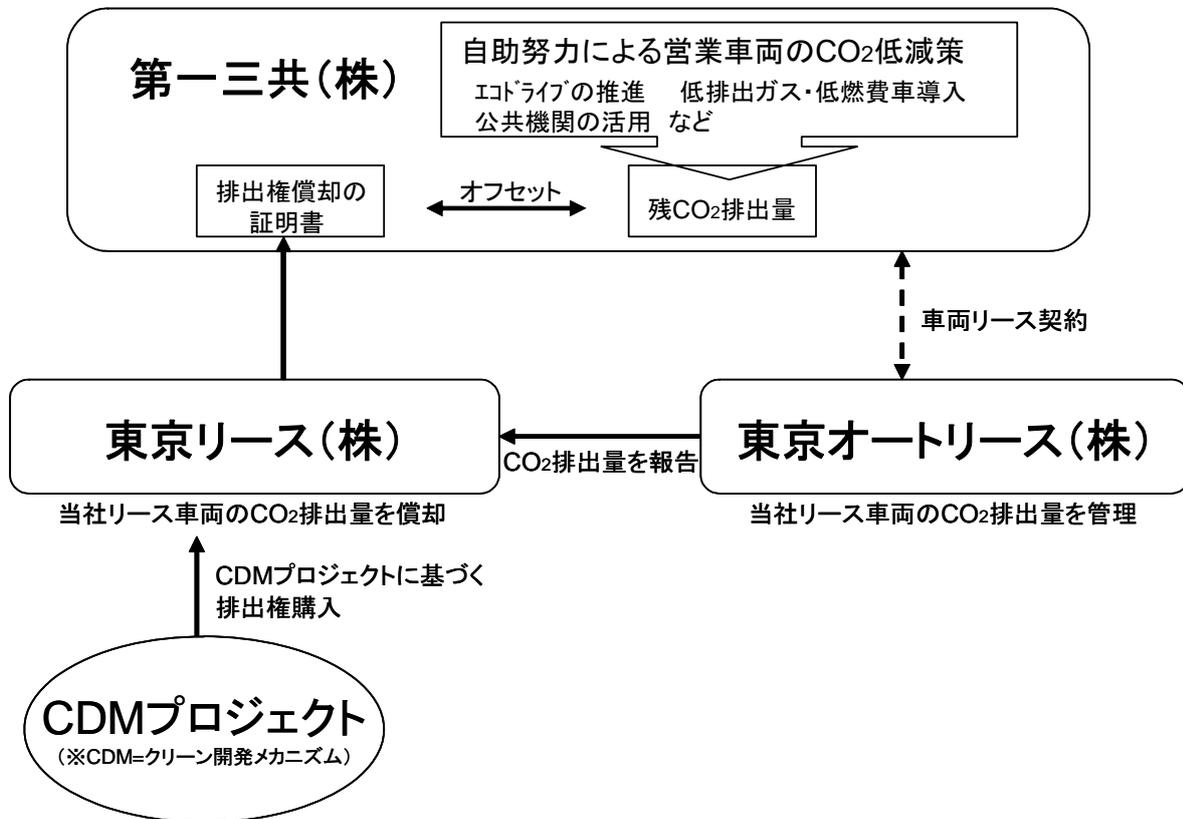
京都議定書に定められている京都メカニズムの一つ。先進国と途上国が協同でプロジェクトを実施し、その結果発行された認証済み排出削減量（又は吸収増大量）を自国の目標達成に利用できる制度。

なお、当社でオフセットされたCO₂の排出権は、東京リースを通じて日本政府へ届け出ることにより、日本政府の京都議定書削減目標達成に寄与します。

※3 韓国ウルサンプロジェクト

韓国ウルサンケミカル社で展開されている温室効果ガス削減プロジェクト。

※参考：今回の取り組みのスキーム図



以 上